

News Release



1月9日に発表された報道用資料の和訳です

2008年1月11日

BASF、アジア太平洋地域の可塑剤事業を拡大

- 玩具、食品、医療、自動車を含む工業用途への取り組みに焦点
- 南京石化プラントでのオキソ-C4の製造能力を30万5,000トンに拡大
- 可塑剤向けアプリケーションラボを上海に開設
- 革新的な可塑剤、Hexamoll® DINCH(ヘキサモールディンチ)とPalatinol® 10-P(パラチノール 10-P)に注力
- 地域の人材育成に向けた大学院研修プログラムを開始

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL: <http://www.japan.basf.com>

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、アジア太平洋地域の可塑剤事業を拡大します。溶剤と可塑剤に対する需要の拡大に対応するため、中国・南京にあるオキソ-C4プラントの年産能力を2008年第4四半期までに5万5,000トン拡大し、30万5,000トンに引き上げます。これにより、可塑剤原料となるアルコール、n-ブタノールや2-エチルヘキサノールのサプライヤーとしての信頼性が確実なものとなります。アジアでの可塑剤の需要は、2015年までに年間4~5%拡大すると推定されます。

これと同時に、アジア太平洋地域では初となる可塑剤のアプリケーションラボを上海に開設しました。この新たなアプリケーションラボでは、可塑剤である「ヘキサモールディンチ」や「パラチノール 10-P」といった、BASFの革新的な製品の軟質PVC用途を中心に研究開発活動を行います。ヘキサモールディンチは、食品と接触する製品や医療機器などのデリケートな用途向けに特別開発された非フタル酸系の可塑剤です。また、パラチノール 10-Pは、自動車や電線用途で優れた特性を発揮する新たなC10可塑剤です。優れた技術を持つ専門チームが、実験・試験、現場での技術アドバイス、配合調整、顧客との共同開発等、さまざまな専門サービスを提供します。

BASF グレーター・チャイナ取締役会会長、ジョニー・クワンは次のように述べています。

「中国をはじめ、アジア太平洋地域全体が現在および将来の化学品市場の中心となっているのは、時代の兆候といえます。お客様はイノベーションを求めており、BASFでは、最先端の研究施設と生産の強化によりお客様のニーズにお応えしてまいります」。

BASFの石油化学品事業本部プレジデント、アルベルト・ホイザーは次のように述べています。

「当社のお客様にとって重要なのは、南京拠点の他の施設の拡張計画を開始する前に、オキソ-C4プラントの供給不足を解消することです。中国は現在、アジア地域のオキソアルコールの需要の約半分を占めており、中国をはじめとするアジア地域の急速な需要の

高まりに今後、BASFは対応していくことができます。上海でアプリケーションラボを設立し、南京のプラントと欧米の既存のプラントでの製造能力拡大を通じ、BASFは可塑剤および可塑剤アルコールの分野で世界をリードする企業としての地位を強化しています」。

また、中国の著名な復旦大学と上海交通大学の大学院生を対象に、新設したBASFのアプリケーションラボでの活動をサポートするスポンサー活動も計画しています。クワンは次のように述べています。

「研究開発センターとしてのBASFの地位がよりいっそう高まると同時に、大学との結びつきを強めることができます。上海の学生の就職先として、BASFが人気の企業になることを望んでいます」。

###

■可塑剤について

可塑剤は硬くてもろいポリ塩化ビニルに柔軟性を与え、さまざまな商品への応用を可能とする化学品です。床材や電線被覆、玩具、ラップなど、毎日使用するさまざまな製品の製造に不可欠です。BASFは年産50万トン以上の製造能力を持ち、可塑剤の世界的なリーディングカンパニーの1社として、標準製品からスペシャリティ製品にいたるまで、顧客各社のニーズに合わせた豊富な製品を提供しています。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬・ファインケミカルから、原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFは、新技術の開発を通して未来の新たな課題に取り組むとともに、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことで、より良い未来に貢献しています。従業員数は約9万5,000人、2006年度には526億ユーロを超える売上高を計上致しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。BASFのインターネットホームページアドレスはwww.basf.comです。BASFジャパン(株)のホームページのアドレスは、www.japan.basf.comです。

■この件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀

Tel. 03-3238-2341